

横手市議会だより

9月定例会

あなたと市議会



いのち
「生命」 横手清陵学院中学校2年 高橋 ゆうな
柚菜さん

主な内容

定例会ピックアップ	2
委員会審査報告	3
令和5年度決算審査	4
一般質問	8
ぎかいトピックス	15

作品のこだわりポイント！

この絵は桜を題材にしました。春の花なので、日が当たって暖かく気持ちの良いところを赤色、草木の生長を黄緑色、涼しい春風を青緑色、桜の鮮やかさを桃色の4色で表し、生命力あふれる春を表現しました。

厚生常任委員会



病院事業管理者の
給料減額についての理由や根拠は

◆病院事業管理者の給料減額について
問 給料の減額について10分の1、一カ月とした理由や根拠は何か。

答 市立横手病院職員の不祥事を受け、市長等の処分に合わせて病院事業管理者自らも処分を受けたいと申し出たもので、減額の内容については市長等の処分に足並みをそろえたものである。

◆ペットボトル圧縮梱包機について
問 現在1台での稼働・運用となっているが、暫定的なものか。

答 令和7年度、8年度の2力年で新しいペットボトル等処理施設を建設予定であり、いわゆる廃プラ新法に対応した製品プラスチックも梱包できる機械2台を投入する予定となっている。その間は1台で対応することとしている。



稼働している
ペットボトル圧縮梱包機

厚生常任委員

本間 利博
立身万千子
寿松木 孝
宮川 拓也
井上 忠征
播磨 博一
菅原 恵悦
佐藤 忠久

産業建設常任委員会



空港送迎サービスの
これからは

問 タクシー会社等に運転案内業務を委託したいとのことだが、その内容は。

答 現有の社員により対応し、委託料は1日2便運行・1便運行・運行なしの各単価を設定し、実績に応じて支払う。

問 この事業は実証実験として行われているが、期間はいつまでか。また、その後の見込みはどうか。

答 実証実験期間は令和8年3月までの2年間である。その後は、継続・形を変えて継続・廃止の3パターンが考えられる。アンケートでは「もっと払ってもいいから続けてほしい」との回答が多い。税金等の投入額や公益性をもって判断することになる。



実証実験中の空港送迎サービス
「よこてWARP」

産業建設常任委員

菅原 正志
柴田 忍
加藤 雄太
鈴木 勝雄
林 一輝
佐藤 誠洋
齋藤 光司
高橋 和樹

総務文教常任委員会



市政の最高責任者として
責任を果たすべきでは

◆特別職の給料減額について
問 市長、副市長、教育長の給料の減額率及び減額期間、対象者は適切か。

答 不祥事や事務ミスなどを市役所組織全体の問題と捉え、一連の態様を勘案し、特別職5名全員の給料を10分の1減額、一カ月として提案した。

◆給料を減額しなくて良いという意味ではない。市政の最高責任者としての職責をもう一度深く見つめ直して処分案を再提案するよう求めたい。

採決 委員会での起立採決の結果、起立なしにより否決すべきものと決定した。



総務文教常任委員会の様子

総務文教常任委員

土田百合子
大日向香輝
木村 清貴
福田 誠
青山 豊
高橋 聖悟
加藤 勝義
塩田 勉

賛否が分かれた議案と審議結果

・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。
○：賛成 ●：反対
※1 小野正伸議長は採決に加わりません。 ※2 寿松木孝議員は監査委員です。

案件名	会派・議員名	議決結果									
		議決	結果	認定	認定	認定	原案可決	原案可決	否決	否決	原案可決
表決数	賛成	18	21	17	23	21	3	6	20	18	
	反対	5	2	6	1	3	21	18	4	6	
市民の会	宮川 拓也	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	福田 誠	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
	大日向香輝	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
	菅原 正志	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
	齋藤 光司	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
さきがけ	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	青山 豊	○	○	●	○	○	●	●	○	○	
	佐藤 誠洋	●	●	●	○	○	●	●	○	○	
	寿松木 孝	※2	※2	※2	○	○	●	●	○	○	
	播磨 博一	○	○	●	○	○	●	●	○	○	
新 政 会	塩田 勉	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	高橋 聖悟	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	柴田 忍	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	佐藤 忠久	○	○	○	○	○	●	○	○	●	
	小野 正伸	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1	
創 成 の 会	高橋 和樹	●	●	●	○	○	○	○	○	●	
	林 一輝	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	本間 利博	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
日本共産党	加藤 勝義	○	○	●	○	○	●	●	○	○	
	鈴木 勝雄	●	○	○	○	○	○	○	○	●	
公 明 党	立身万千子	●	○	○	○	○	○	○	○	●	
	土田百合子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新 風 の 会	井上 忠征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	木村 清貴	●	○	●	○	○	○	○	○	○	
実 横 会	加藤 雄太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

白熱した議論が展開

本会議最終日には、鈴木勝雄議員から議案第98号に対して「一連の不祥事や事務ミスに対する責任の取り方として、市長が10分の1、一カ月の給料減額では不十分である。新市民会館の建設が立ち止まっている状況も踏まえ、市長は10分の2、副市長は100分の15、期間なしの給料減額で再度提案するべきである」との反対討論がありました。また、青山豊議員からは議案第98号及び議案第99号に対して「市長は市政の最高責任者としての職責をもう一度深く見つめ直し、処分案を再提出するよう求めたい」との反対討論がありました。

本会議での採決の結果、議案第98号が賛成3、反対21、議案第99号が賛成6、反対18でそれぞれ否決されました。

議案 Pick Up!!

市長等の給料減額案を否決

■横手市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（議案第98号）・横手市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例（議案第99号）・横手市病院事業管理者の給料額、旅費額及びその他の給与額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例（議案100号）

市職員の相次ぐ事務ミスや不祥事を受け、市長、副市長、教育長、病院事業管理者の給料を10分の1、一カ月分減額する3件の条例改正案が当局から提案されました。

採決の結果、病院事業管理者の給料減額条例案が可決された一方で、市長、副市長、教育長の減額条例案については反対多数で否決されました。

議案第98号は市長と副市長、議案第99号は教育長、議案第100号は病院事業管理者の給料減額に係る条例の改正案だよ。



審議された議案の概要は、横手市議会ホームページからご確認ください。

農商工業・観光・土木・建築・上下水道

地場産品の年間活用は可能か

学校給食用野菜の地場産品利用に向けた冷蔵保存試験の実施結果はどうだったか。また今後の方向性は。

答弁 J A秋田ふるさとの多機能型低温倉庫を活用し、ジャガイモ50kgを約4カ月間、タマネギ30kgを約7カ月間冷蔵保存した結果、鮮度に問題がなかった。今年度も試験を継続して品質を確認した上で、地場産が少ない時期に学校に提供していく予定である。



冷蔵保存された地場産品のジャガイモとタマネギ

スマート農業推進で目指すところは

スマート農業実装支援事業について、スマート農業推進の結果をどこに持っていきたいのか。また農業以外への波及の考えは。

答弁 一般化できるような方向性に向けて普及を進めたい。当市は、ドローン免許の取得者が県内でもおそらく一番多く、ドローンの技術は商工業など様々な場面での活用方向性があるため、部局横断で今後検討していきたい。



産業用ドローンによる病害虫防除

水道管路の現状と将来の見通しは

令和5年度の管路更新、布設替工事の実績は。また管路の老朽化に歯止めがかかっていないが、今後はどう考えているか。

答弁 管路更新等の実施延長は3,137.6メートルで更新率は約0.3パーセントとなった。更新率の低迷は認識しており、今後15年間で管路更新に対し約110億円の投資予定であり、0.7パーセントの更新率を目標に進めたいと考えている。



水道管路更新工事の様子

横手産品の販路拡大の取り組みと成果は

横手産品販路拡大支援事業について、何の物産をどう売り込んだのか。また、その成果をどのように判断しているか。

答弁 首都圏においては、スイカやリンゴ、旬の農産物の販促を行っており、外食産業の販路拡大事業にも取り組んでいる。トップセールスを含めた継続的な活動により、横手産品の認知度が上がり、売り上げ向上に繋がった。



首都圏における横手産品の販売ブース

健康・福祉・環境

証明書のコンビニ交付について

利用見込みと予算積算は適切であったか。またコンビニ交付利用者の年齢層について把握しているか。

答弁 おおむね見込み通りの支出となった。支出内容としては、国の関係機関へ支払うコンビニ交付手数料やシステム保守委託料、運営負担金である。交付実績について証明書の種類別、地域別の資料はあるが年代にかかる分析はまだ行っていない。



証明書のコンビニ交付のイメージ

ひきこもりに関する調査の結果について

今後の対応や相談体制についてどのように考えているのか。また調査で把握しきれなかった方にどのようにアプローチしていくのか。

答弁 ひきこもりは、若年層と就職氷河期世代を中心とした中高年層に分かれており、世代別の支援を検討している。また民間の支援機関等と連携した支援体制を構築している。民生委員等福祉関係者への協力依頼を続け、相談しやすい社会づくりに取り組んでいきたい。

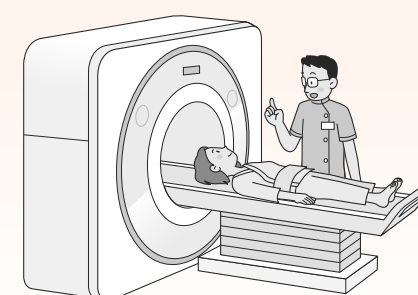


関係者が連携したひきこもり支援が求められる

国民健康保険の人間ドック費用助成の実績は

病気の早期発見、早期治療につながる大事な事業と考えるが実績と医療費削減の効果について検証はできているか。

答弁 令和5年度の人間ドック等費用助成の利用実績は宿泊92人、日帰り337人、脳ドック23人の合計452人であった。対象者を600人と見込んでおり利用率は75.3%、昨年比の1.7倍となっている。医療費削減への効果については現状まだ分析できていない。



人間ドックの利用率向上が求められる

マイナンバーカード不安解消への取り組みは

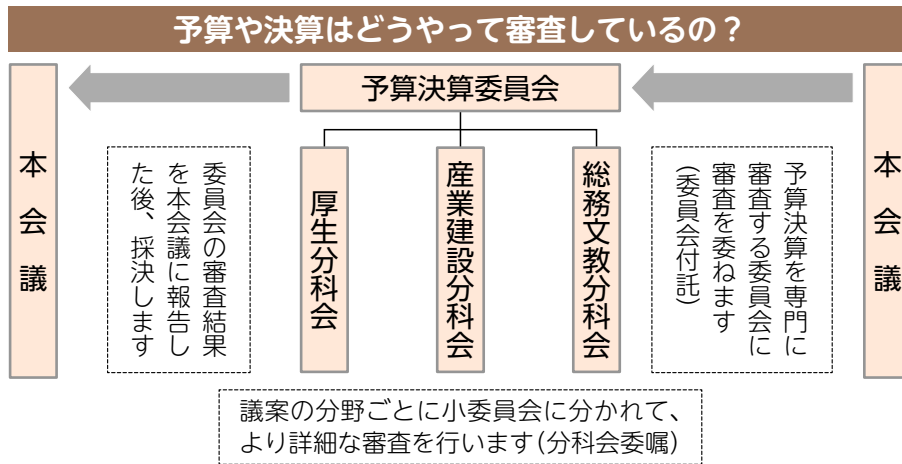
普及率が高くなり証明書のコンビニ交付の利用は伸びると思われるが、周知や不安解消への取り組みはどのように行っていくか。

答弁 マイナンバーカード交付時に利用方法を説明しているほか、市ホームページやチラシの全戸配布による周知や窓口での紹介を行っている。コンビニの端末操作が苦手な方は、職員が丁寧に説明するので市役所窓口で気軽に声をかけていただきたい。



不安解消につながる取り組みが必要なマイナンバーカード

認定 令和5年度各会計決算が認定される



9月定例会では予算決算委員会を開催し、令和5年度一般会計をはじめ、特別会計、企業会計の決算認定議案10件を審査しました。その結果、10件全ての決算を認定すべきものと決定しました。

予算決算委員会の概要



しらとり議員が解説します！

総括質疑は、予算決算委員会において市長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。9月定例会では前年度の決算について総合的な質問を行います。

総括質疑

市の財政運営に係る

市民への説明責任は

高橋 和樹議員



問 令和5年度一般会計補正予算(第14号)の新・体育館建設事業に関し、有力な財源としていた「防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(以下、「国土強靱化債」)を6億5000万円減額している。これは、新体育館の建設事業費約110億円の約35%を占める国土強靱化債約38億円のうち約37億円が見込めなくなったとの説明であったが、その経緯を時系列で説明願う。

答 令和5年12月に起債申請手続きを進めていた際に活用できないことが判明したため、令和6年3月定例会においてそれを減額し、振替財源として合併特例債を5億6690万円増額した。当初想定した財源の見込みに相違が生じた理由は各省庁及び県と協議を進めてきたが、各省庁間における制度の関連性について、解釈に相違があったことによるものである。このことで財政的に穴が開

いたというような類のものとは捉えていない。補助金や地方債においては、珍しいことではなく、ごく普通にあることだ。

問 財政的に穴が開いていないとの発言は否定する。現在まで市当局からの正確な説明も無く、この37億円の国土強靱化債が確保できなかったことは、大きな市の失態だと思う。令和5年12月に知り得たのとことだが、同年1月の総務省の事務連絡にこの財源が活用できないことが表記されている。なぜそれを確認できなかったのか。

答 国や県と協議していたが、そういう認識までたどり着かなかったということである。

総務・財政・教育・生涯学習・消防

災害対応ドローンの運用体制と実績は

運用実績はいかがか。年次計画などで台数を増やしていくことは考えているか。また運用体制はどのようになっているのか。

答 導入後9件の出動があり、救助活動1件では、搭載されたカメラで発見に至った実績がある。現在2機体制で消防本部警防課を中心に運用しており、今後の運用状況を見極め、他市町村の活用状況も踏まえて検討する。



既に実績がある災害対応ドローン

増田まんが美術館の情報発信の在り方は

情報発信が国内向けとなっているが、外国人の方々に対しての情報発信は行っているのか。

答 横手市増田まんが美術財団では、フィンランドをターゲットに県と連携してPR活動を実施した。また、市として今後は大学等へのPRや連携に加えて、外国人の方々も含めて情報発信していきたいと考えている。



今後は国外への情報発信も期待される増田まんが美術館

町内会活動補助金の実績が少ない要因は

交付件数が目標に対して非常に少なく感じるが、どう捉えているか。また、今の町内会、自治会の実情をどう見ているか。

答 着実に増加しているが、目標値の修正が必要と考える。町内会の現状は地域によってかなり差があり、活動が活発な町内会とつながりが希薄になってきている町内会もある。町内会の継続に向けて呼びかけたい。



地域づくり活動補助金を活用した花植え(福地地区)

若者交流事業の内容・検証・成果は

具体的な内容はどのようなものか。また、この事業は検証が必要であり、成果や見直した方が良い点などは把握しているか。

答 男女の出会いにつながる交流会及びファッションやメイク、悩みの個別アドバイスなどのイベント開催の補助を実施している。結婚、出産の入口となる出会いを応援する事業で、参加いただくための仕組み等を検討していく。



開催された若者交流事業「よこて fan コン」

本間 利博 議員
ほんま としひろ

市長給料減額の基準は？

問 度重なる不祥事、事務ミスに伴う給料減額（10分の1、一カ月）の判断基準について伺う。

答 一定の基準や標準例はないが、過去の処分例や他自治体の例を参考にした。

問 市長は最高責任者であり、重い責任があると思うが、減額率が全て同じである理由と減額対象者の範囲を伺う。

答 不祥事や事務ミスがこれまでの仕事の中で予見できなかったことに対する責任があり、特別職5名が責任を取ることで市全体として防止に努めていきたい。減給は市長と両副市長、教育長、病院事業管理者の5名を対象としている。

●クマ対策について

問 クマ対策で市街地ゾーンと奥山ゾーンとを分けるための緩衝帯整備は特に重要と考えるがどうか。



答 森林内の見通しが良くなることで野生動物との棲み分け、出会い頭での遭遇防止が期待できる。緩衝帯整備事業に積極的に取り組んでいきたい。

問 今年度の獣害防止対策事業の受付は終了したが市民に必要な助成だ。今後の対応について伺う。

答 電気柵は野生動物の侵入防止に有効であり、今議会に補正予算を提出している。誘引樹木伐採についてもクマ対策に有効なため、制度の周知を行い鳥獣害防止に努める。



夜間にブドウ畑に現れたクマ

菅原 正志 議員
すがわら ただし

山と川のあるまち 横手川の景観の改善は

問 横手川河川敷の景観をどう改善していくのか。

答 現状では市街地近くの河川敷にも雑草や雑木が生い茂り、景観を損ねているほか、増水時に河川の流れが阻害され、災害発生危険が高まることを懸念している。普段から河川管理については管理者である国や県に要望しているが、機会を捉えてさらに要望していく。

●質の高い職員を育成するために取り組んでいること

問 正職員・会計年度任用職員問わず、公平・公正で質の高い接遇は徹底されているのか。

答 各課室所での教育・指導による職員の育成が基本となる。会計年度任用職員に対しては、外部講師による接遇マナー向上研修を実施している。今後担当職員の対応として、管理職等が指導を行いながら、正職員・会計年度任用職



答 現状では市街地近くの河川敷にも雑草や雑木が生い茂り、景観を損ねているほか、増水時に河川の流れが阻害され、災害発生危険が高まることを懸念している。普段から河川管理については管理者である国や県に要望しているが、機会を捉えてさらに要望していく。

問 質の高い職員を育成するために取り組んでいること

答 各課室所での教育・指導による職員の育成が基本となる。会計年度任用職員に対しては、外部講師による接遇マナー向上研修を実施している。今後担当職員の対応として、管理職等が指導を行いながら、正職員・会計年度任用職



背が高い木も生い茂る横手川

ココが聞きたい！

12人の議員が市政を問う

9月4～6日に一般質問が行われ、12人の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。



一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。



二次元コード
読取



本間 利博 議員

- ◆ 本間 利博 議員 … 市長給料減額の基準は？
- ◆ 菅原 正志 議員 … 山と川のあるまち 横手川の景観の改善は
- ◆ 播磨 博一 議員 … 豪雨被害に対しての支援策は
- ◆ 加藤 勝義 議員 … りんご腐らん病まん延防止条例制定を
- ◆ 立身万千子 議員 … 国保税を県で統一後も市民本位の施策を
- ◆ 井上 忠征 議員 … 都市計画道路「横手中央線」の進捗は？
- ◆ 齋藤 光司 議員 … 市の内水氾濫対策に問題はないか
- ◆ 福田 誠 議員 … 日本酒と発酵食品で地域ブランド強化を
- ◆ 鈴木 勝雄 議員 … 畑地化促進事業の団地化要件見直しを
- ◆ 土田百合子 議員 … 住民避難や災害対策を万全に
- ◆ 宮川 拓也 議員 … 児童生徒の健全な登下校の在り方を探る
- ◆ 大日向香輝 議員 … よこてWARPをもっと使いやすく！

播磨 博一 議員

はりま ひろかず



豪雨被害に対しての
支援策は



問 二日間の豪雨で市内において多くの被害が発生した。今後の支援策をどのように考えているか。

答 影響を最小限にとどめ、園芸作物の生産維持に努力されている農業者を支援する「園芸作物災害復旧対策支援事業」を創設し、また「マル農」に低利の自然災害枠を適用した。これに加え、県の支援内容や現場の要望を確認しながら、有効な対策をできるだけ早い時期に実施する。

問 農地・農業用施設も多く被災している。来年の営農に支障を来たさめように復旧作業を進めてもらいたいだろうか。

答 国庫補助事業を活用する被災箇所は被災農家などから聞き取り後、国の査定を受け、来年の営農に支障が生じないように復旧を進める。また、この事業を活用しない箇所は市単独による助成を活用



7/24～25の豪雨で
破損した農業用水路

して復旧してもらうよう進める。

●書かない窓口導入について

問 なお一層の市民サービス向上と職員業務の効率化を図る上で有効と考えるが、検討の状況と今後の具体的取り組みについて伺う。

答 均質なサービスの提供が可能となり、事務ミスの未然防止につながることを期待される。今年度末までにプロジェクトチームで窓口のありたい姿を検討し、来年度システム候補を選定する。順調に進めば令和8年度中には運用を開始できるものと想定している。

加藤 勝義 議員

かとう かつよし



りんご腐らん病
まん延防止条例制定を



問 腐らん病は、りんご等に感染する防除が困難な枝幹重要病害である。感染部分は切除や伐採をして、焼却等の処理が必要だ。当市での腐らん病発生状況を伺う。

答 県の定点調査では、市内のりんご腐らん病発生は、例年並みである。幹や大きな枝に発生する胴腐らんの割合は例年より多い。

問 腐らん病防除は、地域一体となつて防除を行うことが重要であるが、個人財産の樹体に対して踏み入ることが難しい状況である。そのことから、多くのりんご産地では、防除勧告・命令・行政代執行などが実施出来る、まん延防止条例が制定されている。横手市でも条例制定を早急に願う。

答 今後の状況や全市的にどれくらいの頻度で広まるかを鑑みながら、県の調査やJ/A果樹課と情報交換しながら検討する。



県内りんご生産額1位の
横手市の樹園地

●新市民会館建設計画について

問 建設費だけでなく、建設後の運用経費も重要な。使用期間を60年とした時の見込み金額は。

答 建設費約100億円と想定し、総額約185億円を見込む。約半分の85億円が運用経費となる。

問 運用経費は、一般に建設費の3から5倍と言われる。市民に大きな負担がかかる、新市民会館建設を白紙にする考えはないか。

答 白紙に戻す考えがないから、今進めている。議員のご心配が杞憂に終わるよう努力する。

立身 万千子 議員

たつみ まちこ



国保税を県で統一後も
市民本位の施策を



問 国民健康保険法改正により運営が県と市になって6年が経ち、昨年度に「都道府県国保運営方針の改定に向けたガイドライン」が厚生労働省から出された。これについて市の方針はどうか。

答 国では「保険料水準統一加速化プラン」を策定しており、県全体で完全統一に向けた議論が進むものと捉えている。

問 「医療費適正化」に向けた市の取り組み状況は。

答 特定検診受診率の向上や人間ドック助成等により、早期発見、早期治療に取り組んでいる。

問 事務の標準化について、今後のスケジュールは。

答 保険証廃止後の制度対応や令和7年度までのさらなるシステム標準化に向け、円滑な移行を目指す。

問 財政安定化基金は県で設置す



本庁舎の国保市民課窓口

るが、その活用方法は。

答 特別な事情等による市の財源不足を補う県の交付・貸付制度であるが、それには返還義務が生じるので安定的な国保運営に努める。

問 国保財政調整基金は国保加入者の負担軽減にこそ使すべきであり、子どもの均等割をなくす等様々な応援金を創設すべきでは。

答 保険料水準の統一化への過程にあり、適正な活用を検討する。

●その他の質問
●各集落や町内での災害対応について

井上 忠征 議員

いのうえ ちゅうせい



都市計画道路
「横手中央線」の進捗は？



問 計画道路の神明社前から横山町交差点までの700mは、まったくの手つかず状態であるが整備の状況はどうか。

答 最大の課題であるJR北上線との交差箇所について、JR東日本に対して、複数の案を提示し協議を重ねてきたが、大きな進展がみられない。

問 道路の形態について伺う。

答 計画では、幅員が22m、車道は4車線、北上線との交差部分はアンダーパスであり、相当な時間と事業費が予想される。鉄道と平面交差の整備も検討しているが、道路と鉄道の交差角の規定もあり、道路の線形と他の踏切に影響があるので課題が多い。また、4車線を2車線へ幅員減少させた検討も進めてきたが、やはりJR北上線との交差が課題となっている。

問 今後の作業見通しはどうか。



整備が進まない「横手中央線」の現状
横山町から神明町を臨む

答 国や県に支援を仰ぎ、計画案の検討を重ね、引き続きJR東日本等とねばり強く協議を進める。

●感染症予防対策について
問 幼稚園・保育園、小学校などの施設において、手洗い場に温水機能を付加する考えは。

答 各庁舎・地域局や学童保育等、また、市立小中学校の一部には設備がある。それ以外の施設には必要に応じて今後の建て替えや大規模改修工事に合わせて整備する。

●その他の質問
●公共施設の自販機活用について

齋藤 光司 議員

さとう みつし



市の内水氾濫対策に
問題はないか



問 7月の豪雨の際の市としての対応は。

答 24日18時25分に災害連絡部を設置し、2回の避難指示で、14箇所の避難所を開設して対応した。

問 被害の集計はまとまったか。

答 農作物や農地・農業用施設の被害が約10億円、道路の47箇所、法面や路肩の崩落、河川で19箇所の護岸決壊等の被害が発生した。

問 ハザードマップの周知、住民の理解は十分だったか。

答 防災講話や訓練を通して周知しており、スマートフォン等でも簡単に見られるよう整備している。まだ全市民に浸透していないため、今後も周知活動を継続する。

問 用水路・排水路の所有は国から市に譲渡されているが、どのような管理がなされているか。



7/24～25の豪雨で
浸水被害のあった水田

答 譲渡や使用許可等の財産管理は市が行い、日常的な維持管理は使用する地域住民や関係者に管理してもらうことを前提としている。市内全ての法定外公共物の状態を把握することは困難であるが、必要な場合は連絡をいただければ、関係課が連携して対応していく。

問 内水氾濫対策として廃堰の管理が重要だ。廃堰箇所の把握と、管理をどのように行っているか。

答 廃堰の数と場所の把握はしていない。新たに廃堰となる場合は現在の管理者と新たな管理者の協議で管理方法を決めるが、地域要望等を聞きながら進めていく。

福田 誠 議員

ふくだ まこと



日本酒と発酵食品で
地域ブランド強化を



問 日本酒と発酵食品で地域ブランドを強化し、観光振興を推進することが可能と考えるがいかがか。

答 発酵文化の関係者や飲食・観光分野の事業者と連携しながら新たな発酵メニューの開発なども模索し、発酵文化を広める活動をさらに推進していく。

問 横手市の発酵食文化の次世代への継承についての取り組みは。

答 「発酵フォーラム」の開催や、「横手盆地発酵交換会」の開催などで発酵食品・発酵文化への理解を深める取り組みを進めている。

●eスポーツイベントの活用

問 横手市生涯学習館Aoinaでのイベント開催に必要なWi-Fiが整備されているか。

答 Wi-Fi環境を整備しているほか、より安定したネットワーク環境が利用できるよう、有線で接続できる設備を1階に整備している。



10月に開催された
「横手盆地発酵交換会」

問 高齢者の健康維持と交流促進を目的とした「eスポーツ」導入を提案するがいかがか。

答 1階のスタジオとオープンスペースは、一般の方向けの貸館スペースとなっている。スタジオは各種設備を備えており、講演会や研修会などの利用のほか、eスポーツイベントでの活用も想定しているため、利用していただきたい。

■その他の質問

●はり・きゅう・マッサージ施術券の利用促進について

●全国学力テストの結果について

鈴木 勝雄 議員

すずき かつお



畑地化促進事業の
団地化要件見直しを



問 水張り5年ルールにより、令和8年度までに水稲作付、または1カ月の水張りを行わなければ水田活用の交付金が打ち切りとなる。そういった農地は畑地化促進事業に申請できるが、団地化要件が厳しく対象にならない農家もいる。多くの農家が対象となるよう団地化要件を見直しできないか伺う。

答 作付けする作物や圃場条件等により、水張りが困難な場合も十分考えられる。今年度の事業採択状況と農業者の皆様からの要望を踏まえ、令和7年度における団地化要件を見直し、多くの農業者が対象となるように調整していく。

問 来年からあきたこまちRに全面的に切り替わる。農家は従来のあきたこまちと同様の食味評価を受けられるのか、また消費者に買ってもらえるのか心配している。農家にとっては収入が減少す



安全安心な営農支援を

るリスクがあるが、市の考えは。

答 県やJAなどの関係機関と連携し、今後も生産者が安心して作付けし、これまで同様に高品質な米を安定的に供給できるよう対応していく。

●市営温泉について

問 市営温泉の公募の状況と今後の対応スケジュールについて伺う。

答 指定管理施設にはそれぞれ応募があり現在評価中である。譲渡を目指した施設には応募は無く、温泉入浴サービス提供終了の時期を本年中に報告する。

土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



住民避難や
災害対策を万全に



問 横手川・大戸川の合流地点のしゅんせつ工事の実施の検討は。

答 県に再度しゅんせつ工事等を強く要望し、県からの協力要請には積極的に対応していく。

問 「気象防災アドバイザー」採用の考えを伺う。

答 市民の災害意識向上のため、講習会の講師として活用できないか考えていきたい。

●不登校支援について

問 不登校の子どもの保護者であれば誰でも自由に参加できる「保護者の会」を設置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをコーディネーター役として派遣し、保護者を支援していく事が重要であると考えられているがどうか。

答 市では引き続き一人ひとりの状況の違いを丁寧に把握し、支援することに注力していく。そのためにも南かがやき教室と西かがや



総合防災訓練の様子
(大雄地域)

き教室の充実を図り、更なる拡充について検討していく。

●投票しやすい環境整備について

問 投票所に「投票支援カード」と「コミュニケーションボード」の導入を提案しているがどうか。

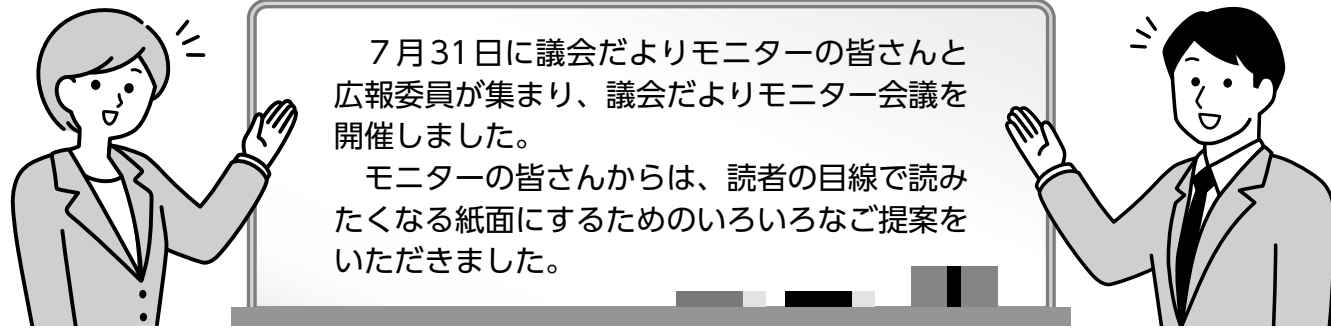
答 導入することを決定しており、次回の選挙から利用いただけるように準備していく。

●子ども権利条例制定について

問 第3次横手市総合計画の策定にあたり検討してはどうか。

答 子ども子育て会議を中心に、計画策定時まで検討していく。

議会だよりモニター会議



7月31日に議会だよりモニターの皆さんと
広報委員が集まり、議会だよりモニター会議を
開催しました。
モニターの皆さんからは、読者の目線で読み
たくなる紙面にするためのいろいろなご提案を
いただきました。



もっと議員を身近に
感じられる記事が
あるとよいと思う。



横文字や専門用語が多く
分かりにくい箇所がある。
注釈や言い換えが必要。



議会だよりモニター会議の様子は8月12日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。
放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。

議会の動き

7月

- 3日 長野県上田市議会行政視察受け入れ
- 8日 厚生常任委員会
- 9日 群馬県安中市議会行政視察受け入れ、
大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 10日 滋賀県草津市議会行政視察受け入れ
- 12日 山形県河北町議会行政視察受け入れ
- 17日 熊本県宇土市議会行政視察受け入れ、
山形県尾花沢市議会行政視察受け入れ
- 19日 総務文教常任委員会同協議会
- 22日 秋田県市議会議長会定例会（秋田市）
- 24日 議会改革推進会議
- 25日 鳥取県鳥取市議会行政視察受け入れ
- 26日 全員協議会（行政課題説明会）
- 29日 北上市・西和賀町・横手市議会議員研修交流会
- 31日 福岡県柳川市議会行政視察受け入れ、
議会だよりモニター会議【P15】

8月

- 3日 友好都市厚木市議会表敬訪問
（～4日）
- 8日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨
時会（秋田市）、神奈川県横須賀市議
会行政視察受け入れ（オンライン）
- 9日 東京都目黒区議会行政視察受け入れ
- 15日 産業建設常任委員会協議会
- 19日 正副委員長会議、議会運営委員会、
全員協議会（議案説明会）
- 26日 市議会9月定例会（～9月20日）
【P2～14】
- 30日 広報分科会

9月

- 4日 議会運営委員会
- 17日 正副委員長会議、議会運営委員会、
広報分科会
- 25日 大森浄化センター整備事業に関する
調査特別委員会
- 30日 広報分科会

宮川 拓也 議員

みやかわ たくや



児童生徒の健全な 登下校の在り方を探る



問 市内小中学校では一部でス
クールバスが運行されているが、
定員に対して利用者は6～7割に
留まっている。児童生徒の安全安
心のために条件を緩和して利用対
象者の拡大ができないか。

答 利用基準の変更については現
在のところ考えていない。

問 利用基準に満たない遠方の子
どもたちは炎天下の中、一時間以
上も重い荷物を持って歩いている
現状がある。これが健全な登下校
の姿であると思うか。

答 登下校時の荷物を少なくする
という視点で考える部分もあるが、
だからと言ってスクールバス利用
を拡大するという事ではない。

問 冬季間は歩道の除雪ができて
いない箇所もあり、子どもたちが
やむを得ず車道を歩かなければな
らないこともある。このような状
況をどう考えるか。



現在のスクールバスは定員の
6～7割しか乗っていない

答 事故のないように各部署と連
携をとりながら注意している。歩
道の除雪は必要な際に要請いた
ければ、出動できる時には出動す
る。

問 市内に登校班の無い小学校が
ある。児童の安全のためにも、保
護者の心配や送迎負担の軽減のた
めにも必要と考えるが、登校班を
実施しないのはなぜか。

答 中心部では集団登校がかえっ
て危険なこともある。また、児童
の減少で登校班が組めないなどの
理由がある。

大日向 香輝 議員

おおひなた こうき



よこてWARPを もっと使いやすく！



問 市の観光資源は季節限定イベ
ントに強く依存している。通年で
誘客を図るためには観光資源の多
様化が必要と感じるが、新たな取
り組みが行われない場合、よこて
WARP事業の持続が困難になる
のではないか。

答 米や農産品と米の加工品など
の活用をさらに強化するよう研究
を重ね、効果のある消費に通年で
誘導していくよう検討を進める。

問 運行便数の増加や運行時間の
拡充を検討し、ビジネス利用を促
進すべきと考えるがいかがか。

答 ビジネス旅行者にも注目しな
がらデータの収集を進め、稼働率
や乗車率を分析し、拡充の可能性
やビジネス旅行者の位置付けを
探っていく。



横手と秋田空港を結ぶ
空港送迎サービス「よこてWARP」

●地域の伝統文化について
問 地域の伝統文化が後継者不足
により、継承できず失われる危機
に直面していると感じる。学校教
育の中に伝統芸能等を積極的に取
り入れることはできないか。

答 各校において地域の伝統芸能
に触れる機会をつくっている。地
域との連携を強固にし、学校教育
の中に伝統芸能を取り入れ、ふる
さとを愛する心を育んでいく。

■その他の質問
●避難所における食料供給と就寝
環境について等

青春 キャンパス色



私たち横手清陵学院吹奏楽部は“音楽は愛だ”をモットーに中学生8名、高校生11名、顧問の先生方3名の計22名で毎日楽しく活動しています。

私たちが通う横手清陵学院は、中高一貫教育校ならではの特徴として、中学生と高校生と一緒に部活動に取り組むことができます。中学生は高校生をお手本に、高校生は中学生のお手本となるように、日々、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。分からないところなどは分かるまで、先輩達が教えてくださるので、とても感謝しています。これまでの部活動を通して、音をそろえることや、音色磨きなどの技術力が成長していると感じます。また、合奏で重ねた成果をコンサートなどで届けられることが一番嬉しいです。

これから更に成長していくために、「より深い楽しみを追求し、結果に繋がられるような音楽を

つくる」という目標を叶えられるような練習内容を考えていきたいと思っています。

9月28日(土)に開催された「第19回定期演奏会」では、輝かしい清陵サウンドを目標に練習に励み、これまで支えてくださった保護者の方々や応援して下さった方々に、感謝の気持ちをお伝えして、恩返しができるような演奏ができたと思っています。

今後も横手清陵学院吹奏楽部への応援をよろしくお願いいたします。

横手清陵学院中学校吹奏楽部 部長 和賀 さくら



横手清陵学院中学校・高等学校吹奏楽部の皆さん

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて! 横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送するとともに、定例会最終日や臨時会当日の夕方には、会議の結果もお知らせしています。ぜひお聴きください。「もっと教えて! 横手市議会」は放送300回を迎え、記念番組を放送しました。

今後の放送予定

- 11/11 常任委員会行政視察報告
- 11/25 12月定例会のお知らせ
常任委員会行政視察報告

好評
放送中

横手かまくらFM 77.4MHz
もっと教えて! 横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



令和6年9月23日放送 放送300回記念
「FM放送のこれまでとこれから」

市議会ホームページで過去の放送
内容をお聴きいただけます。



分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が
他にもございましたら、
議会事務局までお知らせ
願います。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの
お待ちしています。

編集後記

元日に起こった能登地震の被災地、懸命な復旧の最中に豪雨災害が襲いました。お亡くなられた皆さんに哀悼の意を捧げ、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。当市でも大雨災害がありましたが、異常気象が常態化する中では、どこでも起こりうる様々な災害にも、しっかりと取り組んでいきたいものです。(寿松木 孝)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長 宮川 拓也 副分科会長 林 一輝
委員 加藤 勝義 寿松木 孝
加藤 雄太 土田百合子